

貸 借 対 照 表

(平成25年3月31日現在)

(単位 : 千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
《 流 動 資 産 》	〈 363,761 〉	《 流 動 負 債 》	〈 167,287 〉
現 金 及 び 預 金	255,415	未 払 金	31,363
売 掛 金	39,835	未 払 消 費 税	16,253
未 収 入 金	1	未 払 費 用	36,445
貯 蔵 品	1,052	預 り 金	8,838
立 替 金	13,781	賞 与 引 当 金	68,072
前 払 費 用	1,187	仮 受 金	10
関係会社短期貸付金	20,038	未 払 法 人 税 等	6,303
繰 延 税 金 資 産	32,449		
《 固 定 資 産 》	〈 23,396 〉	《 固 定 負 債 》	〈 40,752 〉
〈 有 形 固 定 資 産 〉	〈 6,523 〉	退 職 給 付 引 当 金	30,410
構 築 物	549	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	10,342
建 物 付 属 設 備	2,172		
車 両 運 搬 具	25		
工 具 器 具 備 品	3,777		
〈 無 形 固 定 資 産 〉	〈 744 〉		
電 話 加 入 権	713	負 債 合 計	208,040
長 期 前 払 費 用	31	純 資 産 の 部	
〈 投 資 そ の 他 の 資 産 〉	〈 16,128 〉	《 株 主 資 本 》	〈 179,117 〉
敷 金 及 び 保 証 金	2,368	《 資 本 金 》	〈 30,000 〉
長 期 繰 延 税 金 資 産	13,759	《 利 益 剰 余 金 》	〈 149,117 〉
		繰 越 利 益 剰 余 金	138,356
		当 期 純 損 益	10,761
		純 資 産 合 計	179,117
資 産 合 計	387,157	負 債 及 び 純 資 産 合 計	387,157

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準および評価方法

- ・ 商 品
移動平均法による原価法。
- ・ 貯 蔵 品
最終仕入原価法。

(2) 固定資産の減価償却方法

- ・ 有形固定資産（リース資産を除く）
法人税法に定める定率法によっております。
但し、平成10年4月1日以降取得の建物（建物附属設備除く）については定額法を採用しております。
- ・ 無形固定資産（リース資産を除く）
法人税法に定める定率法によっております。
- ・ リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
- ・ 長期前払費用
定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

- ・ 貸倒引当金
債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に債権の回収可能性を検討した結果、該当する債権はありませんでした。
- ・ 賞与引当金
従業員の賞与の支出に備えるため支給見込み額のうち当期負担額を計上しております。
- ・ 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。
なお、過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理することとしております。
また、数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から損益処理することとしております。
- ・ 役員退職慰労引当金
役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(4) 収益費用の計上基準

預金利息および支払利息については発生基準を採用しております。

(5) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

- ・ 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(6) 会計方針等の変更

- ・ 会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更
法人税法の改正に伴い、当事業年度より平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 有形固定資産の減価償却累計額	7,977 千円
(3) 関係会社に対する金銭債権・債務	
短期債務	13 千円
短期債権	53,616 千円

3. 税効果会計に関する注記

(1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

① 流動資産

繰延税金資産

賞与引当金	26,507 千円
未払社会保険料	4,125 千円
未払事業税・事業所税	739 千円
役員賞与	1,077 千円
繰延税金資産合計	32,449 千円

② 固定資産

繰延税金資産

一括償却資産	115 千円
退職給付引当金	11,133 千円
役員退職慰労引当金	2,510 千円
繰延税金資産合計	13,759 千円

(2) 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との
差異の原因となった主な項目別の内訳

法定実効税率	38.94 %
(調整)	
交際費	2.11 %
住民税等均等割	5.64 %
役員賞与	4.09 %
その他	8.35 %
税効果会計適用後の法人税等の負担率	20.19 %

4. 関連当事者との取引に関する注記

親会社及び法人主要株主等

(単位：千円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	株式会社ジャパンビバレッ ジホールディングス	被所有 直接100%	役務の提供	売上高	1,394,270	売掛金	39,835

取引条件及び取引条件の決定方針等

価格その他の取引条件は、市場実勢を参考に価格交渉の上で決定しております。

5. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	298,529円 70銭
1株当たり当期純利益	17,935円 64銭

6. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

7. 当期純損益金額

当期純利益	10,761 千円
-------	-----------